

中間評価結果（平成19、20年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
20-1	サービスイノベーション型空間情報社会基盤に関する研究開発	東京大学 空間情報科学 研究センター 特任講師 関本 義秀	B
<p>< 研究の概要 > デジタル道路地図の迅速な更新を契機とするサービスイノベーションにつながるフラッグシップ的な実験プロジェクトを立ち上げるため、道路地図コンテンツの流通活性化のためのニーズと課題の整理を行い、地図更新情報の自動収集技術の開発を実施する。</p> <p>< 研究継続の妥当性評価 > 研究の進捗状況、見通しともに、概ね良好であるが、ニーズ、課題の分析を早期に行い、開発システムの明確化を行うなど、指摘事項を踏まえ現行のとおり推進することが妥当である。</p> <p>< 特記事項（今後の研究に対する意見・指摘事項等） ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20年度は中心技術部分の開発というより、データの前捌きの側面に力点が置かれているが、今後、ブレイクスルーする技術目標（研究開発要素）を明確に意識されて、研究を推進されたい。 ・ 道路地図コンテンツの流通活性化のためのニーズや課題の整理と地図更新情報の自動収集技術の開発の2つの研究内容について有機的に結合して研究を進められたい。そのため、ニーズや課題の分析整理を早期に取りまとめられたい。 ・ 研究成果がより有効に活用されるために、ニーズの調査対象者に道路利用者マイカードライバー、高齢者ドライバー、トラック・タクシー等の道路運送事業者）や交通管制担当部局にまで拡大することを検討いただきたい。 ・ 更新する情報の内容は、網羅的でなく、その種別、制度によってもその必要性は異なり、また、必要性の判断は、道路の種別や地域性を反映したものであるべきと考えられ、これらの点に配慮いただきたい。 			